

平成22年度に実施した一関市が管理する市道橋の点検結果についてお知らせします。

1. 目的

一関市が管理する市道橋は、小規模な橋梁を含め現在1,237橋ありますが、これらの多くが高度経済成長期以降に建設され、今後建設後50年を経過しようとする橋梁が急速に増加します。

こうしたなか、従来の「対症療法的な維持管理」から「予防保全的な維持管理」へ転換することにより、今後の修繕および架け替えに要するライフサイクルコストを縮減するため、「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な修繕工事を進める取り組みを行っています。

2. 平成22年度の取り組み

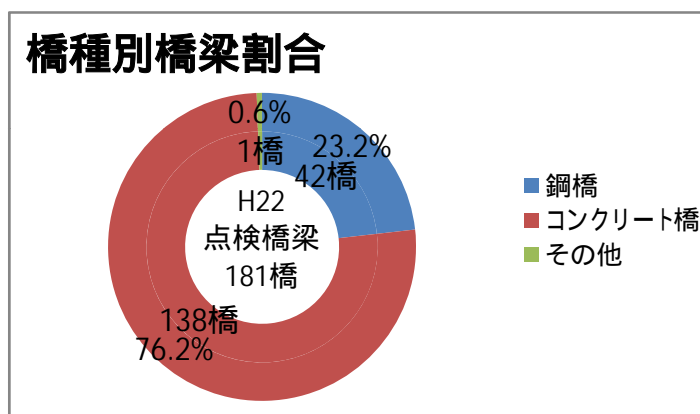
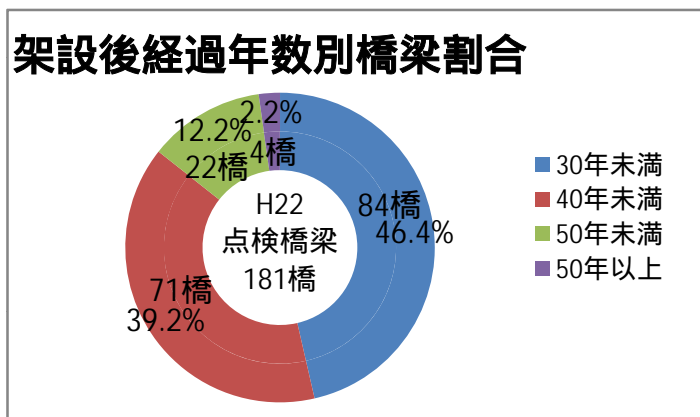
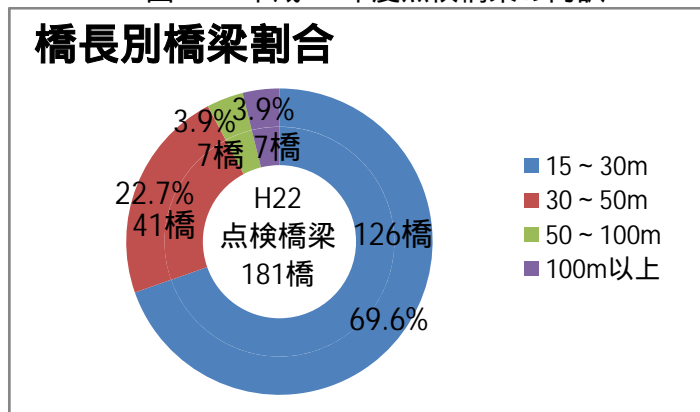
計画策定に必要な橋梁の損傷状況を把握するため、橋梁点検を実施しました。

橋長15m以上の橋梁300橋のうち、181橋を点検

橋種はコンクリート橋138橋、鋼橋42橋、その他1橋

供用年数は、30年未満、40年未満の橋梁が大半を占めています。

図 - 1 平成22年度点検橋梁の内訳



3. 点検結果の概況と対応

コンクリート橋や下部工に一部鉄筋露出が見られますが、現状では構造的に支障ありません。鋼橋は部分的な腐食が見受けられましたが、変形等の損傷はなく、比較的健全な状態を維持しています。

多くの橋梁で、路面の凸凹や舗装の亀裂が発生しています。

伸縮部の目地の欠損や支承の破損等があるため、今後修繕を実施していきます。

表 - 1 点検橋梁の損傷内容

部材		損傷種類	橋梁数	割合
主桁	鋼橋	腐食	6	3.3%
		亀裂 緩み・脱落 破断	1	0.6%
	コンクリート橋	ひびわれ	1	0.6%
		鉄筋露出	10	5.5%
		腐食	1	0.6%
床版	鉄筋露出	10	5.5%	
	ひびわれ	7	3.9%	
	腐食	1	0.6%	
その他 上部工	防護柵	亀裂、破断	0	0.0%
	地覆	ひびわれ	0	0.0%
		鉄筋露出	9	5.0%
	路面	凸凹	75	41.4%
	伸縮部	凸凹	15	8.3%
下部工	鉄筋露出	12	6.6%	
	ひびわれ	1	0.6%	
	腐食	1	0.6%	
基礎		変状	3	1.7%
支承		腐食	20	11.0%
		機能障害	3	1.7%

H22点検橋梁数 181橋

4. 損傷事例(主に多く見受けられた損傷)



主桁の鉄筋露出



床版の鉄筋露出



下部工の鉄筋露出



支承の腐食



防護柵の腐食



地覆部の鉄筋露出



路面の亀裂

5. 今後の取組み(橋長15m以上の橋梁について)

平成23年度までに橋梁点検を完了する予定です。

平成24年度までに橋梁長寿命化修繕計画を策定する予定です。

策定した計画を基に修繕工事を実施していきます。